



な り た な お こ

成田 奈緒子

巾着田バーベキュー有料化実証実験開始！
環境保全・市民協働・ウェルビーイングが要！

動画で一般質問を
ご覧いただけます



水辺 de ベンチャー事業推進はいかに

【答弁】 官民連携による継続性・新活用法・経済循環を検証

問 受益者負担の考えを検討するとの前回答弁から今回の2週間の実証実験はその取り組みの一つとなる。方法と収入の使途は。事業推進に環境保全と未来世代の幸せを軸にしたルール作りは重要で、国の「地方創生人材支援制度」が有効では。

答 火気利用の対価に大人1,000円、小学生500円徴収。全額民間事業者の収入で使途は人件費やごみ処分費に。協議会、地域との合意形成により高麗郷一帯の地域資源を環境保全前提に最大限活用し、国・県の支援制度を必要に応じ活用する。

問 ろくだい せき 鹿台の堰と付近の崖崩れに対する改修整備方法は自然・生物・環境に配慮したものか。

答 かごマット工法を用いる等、原風景維持、川に生きる動植物の生態系や自然環境に配慮する。

高麗郷一帯、高麗小跡地含む地域資源の更なる活用と機能の再配置の検討について

問 遠足の聖地プロジェクトにおける課題・ニーズからバイオマストイレや博物館設置、田とレンゲ畑復元、水車でそば粉ひき等体験型観光メニューの事業化、高麗駅・巾着田間のアクセスとして新遠足ルートの一つにジップスライド設置等の考えは。

答 通年の観光客誘致、アクセスは大きな課題。若者の意見も反映し広範囲での有用な活用を図る。



よ こ お た か ふ み

横尾 貴文

まちづくり寄附金の利用促進のため独自の発想と創意工夫を

動画で一般質問を
ご覧いただけます



ふるさと納税に関する市の取り組みは

【答弁】 子ども医療費支給事業や区長要望に活用

問 日高市のふるさと納税の令和4年の実質収支額は1億2,841万1,112円で埼玉県内4位と有数の実績であるが、現状と活用事業は。

答 令和5年度の寄附受入件数は1万3,598件、受入額は2億2,011万6,945円だった。現在、市では寄附金の使い道を「ひだかの魅力にあふれ活気のあるまちづくりを応援しよう」、「ひだかの豊かな自然を後世に引き継ごう」、「未来を担う『ひだかつ子』をまるごと応援しよう」、「健康でいきいきと暮らせるまちづくりを応援しよう」、「安全で快適に暮らせるまちづくりを応援しよう」の5つの事業メニュー及び「自治体におまかせ」から指定し寄附し

ていただいている。令和5年度は、子ども医療費支給事業や各地区からの区長要望による道路等の工事、英語教育推進事業、市民まつり開催事業、検診事業など3億6,993万3,133円を活用させていただいた。

問 ふるさと納税はアイデア次第で大きな可能性を生み出し得るが、利用促進に向けた取り組みは。

答 ふるさと納税は財源確保にとどまらず、大きな可能性になり得る。採用3年目までの職員による「若手職員政策創造プロジェクト」でふるさと納税の拡充について検討予定であり、斬新かつ柔軟なアイデアが出ることを期待している。